
「関節リウマチに対するメトトレキサート皮下注製剤の有用性についての
後方視的観察研究」

に関するお知らせ

このたび、メトトレキサート皮下注製剤使用前後で関節リウマチの治療効果判定を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

また、開示すべき利益相反（COI）はありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年10月1日～2025年1月16日の期間に【埼玉医科大学総合医療センターおよび青木内科クリニック】を受診し、メトトレキサート皮下注製剤を導入し、関節リウマチの治療効果判定を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

メトトレキサート皮下注製剤は、メトトレキサート内服と比較し、関節リウマチの治療効果を発揮することが可能かどうかや経口薬の副作用は改善するのかどうかを検討します。

3. 研究期間

埼玉医科大学総合医療センター病院長の許可後～2026年1月16日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年2月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

血液検査、使用薬剤の経歴、身体所見、問診内容を使用します

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターリウマチ膠原病内科において、研究責任者である青木 拓海が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

メトトレキサート皮下注製剤を使用した患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病科 青木 拓海（研究責任者）
（既存試料・情報の提供のみ行う機関）
青木内科クリニック 青木和利

4. 試料・情報の管理責任者

【提供先機関】埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

【提供元機関】青木内科クリニック 院長 青木和利

試料・情報提供については研究責任者の外勤先のため、外勤時に情報収集しています。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

連絡先

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科 青木 拓海

住所：〒350-0844 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：0492-28-3574（土日祝日を除く 10：00～17：00）

メールアドレス：takumafu@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：関節リウマチに対するメトトレキサート皮下注製剤の有用性についての後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病科 助教 青木 拓海